

問1 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？

1. 北条時宗 2. 北条貞時 3. 北条時頼 4. 北条高時

問2 琵琶法師によって語り継がれた、平氏一族の栄枯盛衰を描いた軍記物語を何という？

1. 徒然草 2. 平家物語 3. 方丈記 4. 古今和歌集

問3 運慶が快慶らと協力して制作した、奈良の東大寺南大門に安置されている有名な彫刻作品を何という？

1. 観音菩薩像 2. 阿弥陀如来像 3. 釈迦如来像 4. 金剛力士像

問4 十字軍の遠征が活発に行われた時期は、日本の歴史ではどの時代にあたる？

1. 平安時代 2. 室町時代 3. 江戸時代 4. 鎌倉時代

問5 鎌倉時代、元軍による侵攻の際に、従来の武士の戦法である一騎打ちを行うことで苦戦を強いられた、当時の武士階級の呼び名を何という？

1. 御家人 2. 荘園領主 3. 国司 4. 地頭

問6 日蓮が仏教の真の教えが記されていると説いた経典の名前は何か？

1. 観無量寿経 2. 阿弥陀経 3. 般若心経 4. 法華経

問7 『徒然草』のように、筆者が日々の出来事や感じたことを自由に書き留める文学形式を何という？

1. 歌集 2. 随筆 3. 説話集 4. 軍記物

問8 浄土宗の教えが急激に広まったことを警戒した旧仏教勢力との対立により、法然が讃岐へ流された出来事を何という？

1. 建永の法難 2. 承元の法難 3. 嘉元の法難 4. 元寇

問9 鎌倉幕府が成立当初、支配の中心としていた地域を何という？

1. 南日本 2. 北日本 3. 東日本 4. 西日本

問10 鎌倉時代に御家人が負担した、戦いのための動員や役務を何という？

1. 公事 2. 軍役 3. 雑役 4. 番役

問11 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？

1. 防塁 2. 屯所 3. 寄合 4. 番役

問12 鎌倉時代に、承久の乱で朝廷側と戦い、勝利を収めた一族を何という？

1. 平氏 2. 藤原氏 3. 北条氏 4. 源氏

問13 モンゴル帝国が中央アジアから支配下に置いた、西側の地域はどこ？

1. ヨーロッパ東部 2. 東南アジア 3. 西アジア 4. 地中海沿岸

問14 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？

1. 唱題 2. 座禅 3. 踊り念仏 4. 念仏

問15 武士が主従関係において、自分の仕える相手のことを何という？

1. 家臣 2. 将軍 3. 幕府 4. 主君

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権です。元からの服属要求に対し、使者を処刑するという強硬な姿勢をとりました。1274年の文永の役、1281年の弘安の役の際には、自ら指揮を執り、防塁の建設や御家人への動員命令を通じて国家の危機を救いました。
問2	答え 2 平家物語	『平家物語』は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華と、源氏との戦いによる滅亡を描いた作品です。「祇園精舎の鐘の声」という有名な一節にあるように、世の中の無常さを説く「無常観」が根底に流れています。
問3	答え 4 金剛力士像	東大寺南大門に配置された金剛力士像は、運慶と快慶らの工房が分担して短期間で完成させました。筋肉の盛り上がりや血管の浮き出た表現、衣のひだの動きなど、極めて写実的で生命感あふれる特徴を持っています。
問4	答え 4 鎌倉時代	十字軍が始まった1095年は日本で院政期（平安時代末期）にあたりますが、戦いが本格化した12世紀から13世紀にかけては、ちょうど鎌倉幕府が成立し、発展していく時期にあたります。
問5	答え 1 御家人	彼らは平時の警備や戦時の戦闘を担う、幕府の軍事的基盤でした。元軍との戦いにおいては、少人数での一騎打ちを重んじるこれまでの戦い方とは異なり、集団で組織的に攻めてくる元軍に対して非常に苦戦を強いられました。
問6	答え 4 法華經	日蓮は、数ある經典の中で『法華經』こそが釈迦の教えの真髄であると主張しました。この經典を信じ、「南無妙法蓮華經」という題目（唱える言葉）を唱えることが、人々の救いにつながると説いたのです。
問7	答え 2 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式に縛られず、個人の内面や世の中に対する洞察を記すものです。鎌倉時代には吉田兼好の『徒然草』が、平安時代の清少納言の『枕草子』と並ぶ代表的な随筆として知られます。
問8	答え 2 承元の法難	1207年、法然の門弟が起こしたトラブルをきっかけに、旧仏教勢力は朝廷に働きかけました。その結果、法然は承元の法難によって讃岐（現在の香川県）へ流罪となり、多くの弟子も処分されました。これは、新しい教えと古い既得権益側の間の対立が深刻化した事件でした。
問9	答え 3 東日本	鎌倉幕府の当初の支配圏は、主に「東日本」に限られていました。これは頼朝が相模国（神奈川県）の鎌倉を根拠地としたためです。
問10	答え 2 軍役	軍役は、御家人が「奉公」として果たさなければならない主要な義務です。戦が起きた際に手勢を率いて駆けつけたり、京都や鎌倉の警備に当たったりすることが求められました。これは御恩に対する見返りであり、御家人の家格や領地の広さに応じて課されることが一般的でした。
問11	答え 1 防塁	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。この石垣を石築地（いしつじ）とも呼びます。
問12	答え 3 北条氏	承久の乱が起こると、執権・北条義時のもとで幕府軍は京都へ進撃しました。北条政子の演説で御家人を鼓舞し、勝利を収めたことで、全国的な支配体制が確固たるものになりました。
問13	答え 1 ヨーロッパ東部	モンゴル帝国の支配はアジアにとどまらず、西へ大きく拡大しました。中央アジアを経て、東ヨーロッパにまで達しました。これにより、ユーラシア大陸の東西をつなぐ広大な支配圏が確立されました。
問14	答え 3 踊り念仏	「踊り念仏」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。視覚的・聴覚的に人々に訴えかけるこの方法は、当時の民衆にとって非常に魅力的でした。
問15	答え 4 主君	主君は、鎌倉幕府においては将軍であり、家臣である御家人に対して領地の保護（御恩）を保証する存在です。御家人は、この主君のために命をかけて戦ったり、警備などの務め（奉公）を果たしました。この強固な関係性が、鎌倉幕府を維持する大きな力となっていました。